



# たづがね

(鵠が音)

7月19日

「勉強をがんばる」「人やものを大切にする」「じょうぶな体と心をつくる」「あいさつをしっかりとる」

## 夏休み中も感染症プラス熱中症対策を続けましょう

夏休みは自宅で過ごすことが中心となります。これまでと同様に「新しい生活様式」に基づいた感染症対策を続けましょう。特に、気をつけてほしいことは次の4点です。

### 1 手洗い

1行動1手洗いが望ましいです。特に、食事前や外出から帰った後は必ず手洗いをしましょう。

### 2 密を避ける

エアコン使用時も換気をこまめにしましょう。また、マスクの着用とソーシャルディスタンスはずっと続けていくべき感染症防止対策です。しかし、人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。運動しているときも同じです。

### 3 熱中症対策

体調がおかしいと感じたら、すぐに涼しい場所へ移動しましょう。屋外では日かげや風通しの良い場所を探しましょう。のどがかわく前に水分補給をしましょう。

### 4 毎日の検温

いつも同じ時間に検温することで、体調の変化がわかります。平熱より極端に高い時やかぜの症状がある日は外出をひかえましょう。

## 5年生 希少種「イカリモンハンミョウ」の観察

5年生は柴垣海岸へ出かけて「イカリモンハンミョウ」の捕獲と生態観察をしました。県から特別な許可を得て「キッズレンジャー」としての活動は今年が11代目。西屋 馨さん、架谷 成美さん、石川県、羽咋市のサポートを受けてホンモノと初対面。5年生は興奮しながらも熱心に観察学習を行っていました。SDGsの視点からもこの学習を進めています。自分たちが育ったこの地域のすばらしさを感じとるよい機会ととらえています。



巣穴の観察

## 4年生 「ちびボラ」講座で福祉の学習

4年生は福祉の学習をしています。羽咋市社会福祉協議会のサポートを受けて視覚や聴覚に障害のある方との交流をしました。生活経験として身体に障害のある方の存在は知っていますが、学習として深く学ぶ経験は初めてのこと。ゲストさんの「便利な道具はたくさんありますが、最も大切なことは『人』なのです」という言葉を子どもたちはどのように受け止めてこれからの学びにつなげていくのか興味深いです。



教わった手話で自己紹介